

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 2	提案機関名 J A全農かながわ
要望問題名 水稻多収品種の奨励品種採用に向けた試験実施について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本会の主要取引先である県学校給食会からは、神奈川県産米の使用量は3,500 t／年と要望されている。30年度からは、数量目標のもと行われる価格交渉の結果が、生産者手取りに直結している。現状の供給数量では、目標未達にもかかわらず、今後も開発等で水田面積減少が見込まれるため、大幅な生産量増は見込めない。J Aグループで集荷拡大に向けた取り組みは実施しているものの、この状況が続けば、供給数量不足から生産者手取り低下を招き、本県の水田農業衰退に拍車がかかることが想定される。 このような状況のもと、先方への供給は神奈川県産の産地品種銘柄（1・2等）であれば可能であるため、反あたりの収量が多い多収品種の採用を目指したい。また、実務上、奨励品種であることが県・J A等の生産指導を円滑にするようなので、奨励品種としての設定が望ましい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名			
対応の内容等 神奈川県の奨励品種は、品質・収量性及び栽培性ともに優秀であり、かつ地域適応性が高く積極的に普及奨励する品種を設定しております。 このことから、奨励品種を普及奨励するため、収量・品質向上に向けた試験を引き続き実施しております。 御要望の水稻多収品種の奨励品種採用につきましては、県施策としての整理が必要となりますので、継続して検討させていただきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			